

## 第2期「加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和2年4月

## 第2期「加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

序論 第1期における地方創生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

本論 第2期における地方創生

1 策定方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

3 対象期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

4 政策の目標と基本的方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

1. 第2期の総合戦略における目指すべき将来

2. 基本目標と横断的目標

基本目標

(1) 若い世代が結婚し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり・ 3

(2) ひとが集う、誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる・・ 4

(3) 東京圏とのつながりを築き、加茂市への新しい人の流れをつくる・・・・・・・・ 6

(4) 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする・・・・・・・・・・・・ 8

基本目標を達成するための横断的目標

○ 新しい時代の流れを力にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

5 PDCA サイクルの確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## 序論 第1期における地方創生

### 第1期の検証

第1期「総合戦略」にかかげる数値目標、重要業績評価指数（以下「KPI」という。）については、有識者会議である「加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において計画期間の中間点における進捗状況を検証した。一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせるとして、「地方創生に相当程度効果があった」として事務局で評価し、有識者会議において評価は妥当であるとされた。

個々の成果目標について、「安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」では、幼稚園・保育園の3歳未満児の利用者が増加して目標を達成した。「ふるさとに対する誇りを高める施策」では、加茂山公園の入込客数で目標を達成し、桐たんす・建具などの木工業の販路開拓事業では商談件数の増加が見られ、栗ヶ岳の入込客数についても目標に近い成果があった。また、小京都加茂に対する愛着と誇りをかん養することを目的とした中学校の「美術・芸術部」と「茶道部」で部員数に増加傾向が見られた。

一方で、人口減少には歯止めがかからず、出生数は目標に届かず合計特殊出生率も悪化している。社会動態についても、20代の転出の増加が続いている。

## 本論 第2期における地方創生

### 1 策定方針

人口減少に適応しつつ、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を目指すため、第1期の「総合戦略」の検証を踏まえて政策体系や KPI が適正であるかを見直しつつ、高齢者や障害者だけでなく「誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域づくり」、加茂市への「新しい人の流れづくり」、「稼ぐ地域づくり」や「新しい時代の流れを力にする」など、新たな視点を加えて第2期の「総合戦略」を策定するものである。

## 2 位置づけ

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と新潟県の「総合戦略」を勘案し、最新のデータを加えて見直しを行った「加茂市人口ビジョン」による分析を踏まえ、加茂市の今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものである。

## 3 対象期間

本戦略の対象期間は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

## 4 政策の目標と基本的方向

### 1. 第2期の「総合戦略」における目指すべき将来

将来にわたって「活力ある地域社会」を実現するため

- 若い世代が結婚し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。
- ひとが集う、誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。
- 東京圏とのつながりを築き、加茂市への新しい人の流れをつくる。
- 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする。

## 2. 基本目標と横断的目標

将来にわたって「活力ある地域社会」を実現するため、4つの基本目標と横断的な目標の下に取り組むこととする。

### 《基本目標1》

#### 若い世代が結婚し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

**数値目標**： 毎年の出生数 年間 120人 5年間で 600人  
 ： 合計特殊出生率を 維持する 令和6（2024）年 1.20

#### 《基本的方向》

- 出産から子育てまで切れ目なく様々な助成を行い支援することで、子どもを育てやすい環境を作って、合計特殊出生率を維持する。
- 子育て中の働く女性を支援することで、世帯あたりの子供の数を増やす。

主な施策と具体的な事業	2025年 KPI (成果目標)
県内トップクラスの子ども医療費助成を行う。 [具体的な事業] (子ども医療費助成事業費)	出生数 年間 120人
妊娠から出産まで助成を行い支援する。 [具体的な事業] (不妊治療費助成事業費) (妊産婦医療費助成事業費)	出生数 年間 120人
世帯あたりの子どもの数を増やす。 [具体的な事業] (誕生祝金)	第3子以降の子どもの数 5年間で 130人
幼稚園・保育園の運営を補助する。 [具体的な事業] (私立保育園運営費等補助金) (私立幼稚園運営費補助金) (保育園の保育料の軽減)	・ 出生数 年間 120人 ・ 3歳未満児の利用 待機児童なし
病児保育施設を運営する。 運営規模 保育士2人 看護師1人 病児・病後児あわせて6人収容	病児保育利用者 のべ人数年間 200人

## 《基本目標2》

### ひとが集う、誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

数値目標：交流人口：年間 60 万人

#### 《基本的方向》

- 医療・福祉を充実させ、高齢者や障害者が分け隔てなく安心して暮らすことができるまちづくりを推進する。
- 障害者に寄り添う体制づくりを推進し、併せて障害者支援事業者の積極的な誘致を行う。
- 豊かな自然、観光資源、文化、スポーツなど地域の特色ある資源を最大限に活かし、地域の活性化と魅力向上を図る。
- 歩きたくなるまちづくりやスポーツ・健康づくり事業によって、健康増進や病気・介護予防に取り組み、健康寿命延伸と医療費削減を図る。
- 子ども、大人、高齢者、障害者が継続してスポーツを行うことができる環境を整備し、スポーツ参画人口の拡大と、実施率の向上を図る。
- 地域社会に密着した消防団や自主防災組織の充実・強化を行って、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進する。
- コンパクト・プラス・ネットワークや地域交通の維持・確保を進めるとともに、既存の公共施設を最大限活用するなど、ストックマネジメントに取り組むことで、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る。

主な施策と具体的な事業	2025 年 KPI (成果目標)
高齢者や障害者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続け、介護が必要な状態になっても利用しやすい介護サービスを充実させる。 [具体的な事業] (介護予防や重度化防止に資する事業の推進)	要介護認定中重度（要介護3以上）認定率（7.0%）の改善

<p>(加茂・田上地域の在宅医療と介護が一体的に提供できる環境の整備と医療介護関係者の連携及び育成、市民への普及啓発)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂医師会内に加茂・田上地区在宅医療推進センターを設置する</li> <li>・市民向けセミナーを開催する 年 1 回</li> <li>・在宅医療介護連携推進協議会を開催する 年 2 回</li> <li>・多職種連携研修会を開催する 年 2 回</li> </ul>
<p>(積極的な民間事業者の誘致と既存事業所の更なる人員確保)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズに合った介護事業所の誘致</li> <li>・基準に合った介護人材の確保</li> </ul>
<p>障害児・者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちづくりを推進する。 [具体的な事業] (障害者当事者団体や障害福祉サービス事業者等の関係機関による連携体制整備及び支援体制の構築)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援協議会を設置及び開催する 年 1 回</li> </ul>
<p>(積極的な障害者支援事業者の誘致)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で不足する障害福祉サービスの提供事業者を誘致、確保する</li> <li>・民間事業者を積極的に誘致する</li> </ul>
<p>粟ヶ岳・加茂山周辺の遊歩道、登山道を整備する。 [具体的な事業] (観光施設管理事業費)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粟ヶ岳県民休養地 入込客数 年間 1 万人</li> <li>・加茂山公園 入込客数 年間 28 万人</li> </ul>
<p>加茂和紙の紙漉き技術を保存、振興する。 [具体的な事業] (紙漉き技術保存振興事業費)</p>	<p>和紙の販売を促進する 年間売上高 40 万円</p>
<p>積極的に健康づくりに取り組む人を応援する。 [具体的な事業] (健康づくりポイント事業)</p>	<p>健康づくりポイント事業の参加者数 年 300 人</p>
<p>自主防災組織の充実・強化を図る。</p>	<p>市内の区の 50% で自主防災組織の機能を強化する。</p>

### 《基本目標3》

#### 東京圏とのつながりを築き、加茂市への新しい人の流れをつくる

数値目標：転入者数（25～44歳） 年間 200人

：移住者数 年間 5人（移住支援を活用した人）

#### 《基本的方向》

- 東京圏などから移住しやすいように、住まいやしごとに関する情報発信に取り組む。
- ふるさとの伝統・文化に対する理解を深めることで、地域に誇りを持つ人材を育成し、東京圏に進学や就職をしても、将来的にUターンを希望する人を増やす。
- 大学、短大、高校などと連携し、地域の担い手の育成、若者の定着を図る。
- 加茂市に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組む。
- 企業や個人による加茂市への寄付や投資によって地方創生の取り組みへの積極的な関与を促し、加茂市への資金の流れの創出・拡大を図る。

主な施策と具体的な事業	2025年 KPI (成果目標)
移住・定住を促進する。 [具体的な事業] (移住・就業支援事業)	支援事業等を活用して移住した人 5年間で25人
地域おこし協力隊制度を活用して地域づくりに取り組み、隊員の定住・定着を図る。 [具体的な事業] (地域おこし協力隊事業)	地域おこし協力隊の受入れ 5年間で3人
加茂市の生活基盤を支える仕事を受け継ぎ、発展させることを誇りに思う人材を育成する。 北越の小京都と呼ばれる加茂市の歴史と文化を継承・発展させる人材を育成する。 [具体的な事業] (総合的な学習の時間等)	授業の実施



主な施策と具体的な事業	2025年 KPI (成果目標)
<p>東京圏を中心に情報発信やモニターツアーや魅力体験プログラム等を実施して、関係人口・交流人口の拡大を図る。</p> <p>[具体的な事業] (ふるさと加茂交流促進事業)</p>	<p>モニターツアー等の参加者数</p> <p>5年間で50人</p>
<p>ふるさと加茂応援寄附金事業を推進する。</p> <p>[具体的な事業] (ふるさと加茂応援寄附金推進事業)</p>	<p>寄附金額</p> <p>年間1億円</p>
<p>企業版ふるさと加茂応援寄附金事業を推進する。</p> <p>[具体的な事業] (企業版ふるさと加茂応援寄附金推進事業)</p>	<p>寄附件数</p> <p>5年間で2件</p>

## 《基本目標4》

### 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

**数値目標**：ふるさと納税による地場産品への経済効果 年 3,000 万円  
：加茂市の事業所数 1,200 事業所 令和 6 年（2024 年）

#### 《基本的方向》

- 加茂市での起業・創業を支援する。
- 企業の誘致をはじめとした多様な仕事の受け皿をつくる。
- 加茂市で農業をやりたいと思えるように担い手の育成や、加茂市でがんばる農家を支援する。

主な施策と具体的な事業	2025 年 KPI (成果目標)
加茂市での創業を支援する。 [具体的な事業] (創業支援資金の実施)	創業件数 5 年間で 20 件
企業の誘致を行う。 [具体的な事業] (企業設置奨励事業費)	企業誘致件数 5 年間で 1 件
桐たんす・建具を中心に木工業の販路開拓や地場産業の振興を図る。 [具体的な事業] (産地振興事業)	製造品出荷額 年間 670 億円 (H29 663 億円)
就職説明会を開催する。 [具体的な事業] (新規高卒求人説明会の開催)	市内の事業所の従業員数 9,200 人程度 (H28 9,676 人)
ICT を活用した販路開拓を推進する。 [具体的な事業] (地場産品の販路開拓コーディネート事業)	事業を活用した事業者数 5 年間で 20 件
農機具購入を補助する。 [具体的な事業] (農林業総合振興事業費)	農業者及び農地の減少を 食い止める 認定新規就農者数 毎年 1 件 5 年間で 5 件

## 【基本目標を達成するための横断的目標】

### 新しい時代の流れを力にする

- 数値目標** : ICT などの未来技術を活用して解決・改善した事例数 3 件 (5 年間)
- : SDGs の理念に沿った新たな取り組み 3 件 (5 年間)

#### 《基本的方向》

- 未来技術の活用によって地域課題の解決や地域の魅力向上を図るなど、加茂市における Society5.0 を推進する。
- SDGs の理念に沿って、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取り組みを推進する。

## 5 PDCA サイクルの確立

総合戦略については、基本目標及び重要業績評価指標 (KPI) を設定しているため、PDCA の取り組みを通じて、その進捗度の検証、見直しを行っていくものとする。検証、見直しについては、指標に基づきおおむね 2 年に一回程度評価を実施し、社会経済情勢にあわせて随時見直しを行って成果重視型の行政運営を推進していく。

検証・見直しに際しては、その妥当性・客観性を担保するために、外部有識者で構成される加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を活用するものとする。